



DX 推進を牽引するコア人財を育成！実践型 プログラム「ビジネスアーキテクト研修」を開始

経営課題を起点とした DX テーマを設定し、事業変革を牽引できる人財育成を強化

サッポロホールディングス(株)はサッポログループの DX 方針(注1)のもと、DX を通じた企業変革および持続的な価値創出を実現するための人財育成施策として、2026 年度「ビジネスアーキテクト(注2)研修」を5月から開始します。

当社は2022年からDX・IT人財育成プログラムを始動(注3)し、2023年までにDX・IT基幹人財900名を育成してきました。2024年以降は、これら基幹人財の中からDX推進を牽引する中核人財の育成に継続的に取り組んでいます。

従来のDX・IT人財育成プログラムでは、「既存の常識にとらわれない発想力」および「データ活用」に関するスキル習得に注力してきました。一方で、企画を実行可能な計画へ落とし込み、成果創出につなげるための実践力の強化が課題となっていました。

本研修では、従来のスキル習得に加え、経営課題に基づいたDXテーマの設定から、実行計画の策定、実務での検証および完遂までを一貫して支援する実践型プログラムを実施します。これにより、グループ全体のDXを牽引する高度な実践力を定着させ、ビジネスプロセスの変革推進や新たな顧客価値創造を主導できる人財の育成を目指します。

本プログラムは、アセスメント等により選抜されたグループ会社社員12名を対象とし、「学習フェーズ」と「実践フェーズ」の二段階で構成し、学習フェーズは(株)Ballista(注4)の協力のもと実施し、経営課題に紐づくDX企画テーマおよび実行計画の策定を行います。実践フェーズでは、策定した計画に基づき、実務の中でDX施策の実行・検証および完遂に取り組めます。

本取り組みは、経済産業省が定めるデジタルスキル標準(注2)の「ビジネスアーキテクト」類型に準拠しており、構想策定から実行・完遂までを一貫して担える人財を育成することで、単なる業務改善に留まらない変革領域のDX企画を推進します。

当社は今後も、事業構造の転換と新たな成長に向けて「人財」と「DX」の経営基盤を強化し、グループ全体の企業価値向上および中期経営計画(注5)のさらなる推進力強化につなげていきます。

(注1) <https://www.sapporoholdings.jp/news/dit/?id=8912>

(注2) <https://www.meti.go.jp/press/2026/04/20260416002/20260416002.html>

(注3) <https://www.sapporoholdings.jp/news/dit/?id=8913>

(注4) <https://www.ballista.co.jp/>

(注5) https://www.sapporoholdings.jp/ir/library/description/items/management_plan_2023_26.pdf

■プログラム概要

1. 実施期間 2026年5月～12月
2. 対象者 グループ会社社員(選抜制/約12名)
3. 形式 オンライン/オフラインのハイブリッド形式

4. 内容

【学習フェーズ】

経営課題・事業課題に紐づく DX テーマを設定し、実行計画を策定。

- ・ ビジネスアーキテクト概論
- ・ ビジネスプロセス変革・新たな顧客価値創出につながる経営課題のインプット
- ・ 経営課題に紐づく企画テーマ設定
- ・ 検証結果を踏まえた推進計画書の作成

【実践フェーズ】

学習フェーズで策定した計画をもとに、実務の中で計画の実行・検証および完遂に取り組む。

- ・ 計画書に基づく推進体制の構築および関係部門との連携
- ・ 実務における DX 施策の実行・検証
- ・ 実行プロセスおよび成果の振り返り
- ・ 成果および課題を踏まえた次期計画・展開方針の整理

■DX・IT 人材育成全体像

